

ゼミ | 講座で得た知識を深め、「対話」を学ぶ

本プロジェクトでは、講座で得た知識を深めて対話する場として「ゼミ」を用意しています。ゼミは講座終了後の時間帯に全6回、少人数で開催されます。ゼミへの出席を希望される方は下記よりお申し込みください。

講師 = あかたちかこ

ゲスト = ④金明和/松村幸裕子 ⑤松波めぐみ

日程 = [全6回] ①8/25 ②9/1 ③9/22 ④9/23 ⑤10/14 ⑥1/26 (予定)

会場 = 各講座の会場と同じ

主な対象者 = アートプロジェクトの運営にかかわる実務者やキュレーター、芸術系メディアの編集者、大学教員、研究者、行政の文化政策担当者、これからアートプロデュースの現場で働こうと考えている方、アーティスト、芸術を学ぶ学生の方などを主な対象とします。

受講条件 = ゼミは全6回の出席を基本とします。

ゼミ受講生は各ゼミの前に行なわれる講座等を必ず受講してください。

定員 = 15名程度 受講料 = 無料 その他 = 年間プログラム終了後、修了証を授与します。

ゼミ申込方法

受講申込締切

2018年8月20日 [月]

lgbtqseminar@kyoto-seika.ac.jp

件名を「芸術実践と人権」ゼミ受講希望とし、氏名・パソコンで受信できるメールアドレス・今回学びたいと思っ
ていること(400字程度)を書いて、メールにて lgbtqseminar@kyoto-seika.ac.jp までお申し込みください。
※定員になり次第、募集を締め切りますが、定員に空きがある場合は締切以降も参加が可能です。詳しくはお問い合わせください。

プログラム	日程	講座	ゼミ	会場
① 概論 対談 「芸術実践と人権 — マイノリティ、公平性、合意について」	8/25 [土]	概論 13:30-14:45 対談 15:00-16:30	オリエンテーション 16:50-17:30	ウイングス京都
② 全国調査から読み解く性的マイノリティの人権課題	9/1 [土]	13:00-15:00	15:20-17:20	ウイングス京都
③ アートとジェンダー	9/22 [土]	13:00-15:00	15:20-17:20	キャンパスプラザ京都
④ 被差別部落と在日外国人の人権	9/23 [日]	13:00-15:00	15:20-17:20	キャンパスプラザ京都
⑤ 障害のある人を取りまく人権課題	10/14 [日]	13:00-15:00	15:20-17:20	キャンパスプラザ京都
⑥ インターネットと人権 世界人権問題研究センター「人権大学講座」	11/13 [火]	14:00-15:40		ハートピア京都
⑦ 多様な性のあり方と人権 世界人権問題研究センター「人権大学講座」	12/14 [金]	14:00-15:40		ハートピア京都
⑧ フォーラム「芸術と労働」	11/23 [金・祝] ※予定	未定		未定
⑨ 上映会+ダイアログ 映画「記憶との対話〜マイノリマジョリテ・トラベル、10年目の検証」	1/26 [土] ※予定	未定	開催予定	未定

共催=①⑧京都市、⑥⑦世界人権問題研究センター「人権大学講座」※⑧⑨の情報は後日WEB、SNSでお知らせします

【京都市主催 関連企画】

連続講座

「共生社会実現のための
アーツマネジメント入門」

第1回「アーツマネジメント
— 社会と関わる現場をつくる」

日時 = 7月12日 [木] 19:00-21:00

会場 = キャンパスプラザ京都

4F・第3講義室

講師 = 雨森信 (Breaker Projectディレクター)

第2回「アートと社会包摂—アートの役割」

日時 = 7月19日 [木] 19:00-21:00

会場 = キャンパスプラザ京都

4F・第4講義室

講師 = 中川真 (大阪市立大学特任教授)

ウイングス京都

京都市中京区
東洞院通六角下る御射山町262

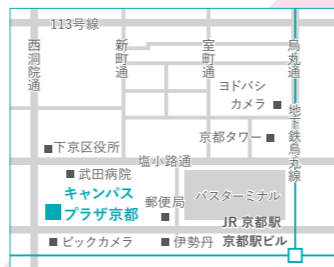
- 地下鉄「烏丸御池」駅下車、
5番出口より徒歩約5分
- 地下鉄「四条」駅、阪急「烏丸」駅下車、
20番出口より徒歩約5分



キャンパスプラザ京都

京都市下京区
西洞院通塩小路下る東塩小路町939

- 地下鉄/近鉄/JR「京都」駅下車、
徒歩5分



ハートピア京都

京都市中京区
竹屋町通烏丸東入る清水町375

- 地下鉄「丸太町」駅下車、
5番出口 (地下鉄連絡通路にて連結)
- 京都市バス/京都バス/JRバス
「烏丸丸太町」バス停下車、烏丸通り沿い南へ



お問い合わせ先 京都精華大学 社会連携センター 〒606-8588 京都市左京区若倉木野町137 TEL 075-702-5263
FAX 075-722-5440 MAIL lgbtqseminar@kyoto-seika.ac.jp WEB www.kyoto-seika.ac.jp



京都精華大学 | LGBTQをはじめとするマイノリティの
社会包摂を視野に入れたアートマネジメント・プロフェッショナル
育成プログラム [講座・ゼミ・フォーラム・上映会+ダイアログ]

平成30年度
文化庁 大学における
文化芸術推進事業



イントロダクション

【芸術実践と人権
— マイノリティ、公平性、
合意について】

鷹野 隆大

あかたちかこ

山田 創平

講座+ゼミ

【全国調査から読み解く
性的マイノリティの人権課題】

日高 庸晴

【アートとジェンダー】

上野 千鶴子

【被差別部落と
在日外国人の人権】

山本 崇記

金 明和

松村 幸裕子

【障害のある人を取りまく
人権課題】

松波めぐみ

【インターネットと人権】

毛利 透

【多様な性のあり方と人権】

谷口 洋幸

上映会+ダイアログ

【映画「記憶との対話
〜マイノリマジョリテ・トラベル、
10年目の検証」】

縦山 智子

長津 結一郎

マイノリティ、
公平性、
合意について

2018年8月-2019年1月

ウイングス京都/キャンパスプラザ京都/ハートピア京都 他予定

【主催】京都精華大学 【共催】京都市、公益財団法人世界人権問題研究センター [プロジェクトコーディネーター=内山幸子]

と芸術実践

マイノリティ、公平性、合意について

近年、「アート」と「社会」との関係が注目を集め、議論され、様々な実践が試みられるようになってきました。しかし一方で、そのような実践の過程において、はからずともマイノリティを排除し、差別するような表現がなされたり、ある人々の人権を制限してしまう事態も発生しています。

本プログラムでは、そのような現在の状況をふまえ、すでにアートの現場で実務にあっている方々、またこれからアートマネジメントに関わろうと考えている皆さん、またこの問題に関心をもつ市民の皆さんに「マイノリティや市民の人権や権利を視野に入れたアートマネジメント」を学んでいただける場を提供します。

本プログラムを受講していただくことで、今日、アートの現場において、グローバルな観点から「標準」とされる人権のとらえかた、表現の自由に対する考え方、社会の公平性や合意に対する考え方を学ぶことができます。

私はこれらの学びが、「オリンピック後」はもちろんのこと、今後百年の芸術や文化の基盤を築くためにも必要だと考えています。本プログラムは文化庁の補助金を得て、京都精華大学、京都市、公益財団法人世界人権問題研究センターが共同で実施します。皆さんのご参加を心よりお待ちしております。

山田創平
プロジェクトリーダー | 京都精華大学准教授

講座 | イントロダクション

「芸術実践と人権 — マイノリティ、公平性、合意について」

日程 = 8月25日 [土] 会場 = ウイングス京都 2F セミナー室

概論 時間 = 13:30-14:45 講師 = 山田創平

対談 時間 = 15:00-16:30 登壇 = 鷹野隆大/あかたちかこ/山田創平

鷹野隆大

写真家

2006年にセクシュアリティをテーマにした写真集「IN MY ROOM」(寫真舎)で第31回木村伊兵衛写真賞を受賞。「性」「都市」「近代」を題材に、社会を規定する無意識の枠組みや制度化された視角を問う作品を発表している。今年6月、「Queer」Asia Conferenceの展覧会「Bodies X Borders」(SOAS、ロンドン)に参加。

あかたちかこ

思春期アドバイザー、大阪人間科学大学非常勤講師

専門は対人援助学と性教育。エイズカウンセラーとして現場に関わりながら、児童自立支援施設や全国の中学校、高校で教えている。共著書に「たたかうLGBT & アート」(法律文化社)。Woman's Diary元編集長。本プロジェクトではゼミを担当する。

山田創平

社会学者、京都精華大学人文学部准教授

厚生労働省・外務省所管の研究機関などを経て現職。編著書に「たたかうLGBT & アート」(法律文化社)、共著書に「ミルフィユ04—今日のつくり方」(赤々舎)など。アートNPOリンク理事、HAPS実行委員、企業メセナ協議会東日本大震災芸術・文化による復興支援ファンド選考委員。

2 全国調査から読み解く性的マイノリティの人権課題

日時 = 9月1日 [土] 13:00-15:00

会場 = ウイングス京都 2F セミナー室

日高庸晴

宝塚大学看護学部教授、厚生労働省エイズ動向委員会委員

カリフォルニア大学サンフランシスコ校医学部研究員、公益財団法人エイズ予防財団リサーチエグゼクティブなどを経て現職。法務省企画の人権啓発資料の監修や文部科学省が2016年4月に発表した性的指向と性自認に関する教職員向け資料の作成協力、国や自治体での講演多数。

3 アートとジェンダー

日時 = 9月22日 [土] 13:00-15:00

会場 = キャンパスプラザ京都 5F 第1講義室

上野千鶴子

社会学者、東京大学名誉教授、

認定NPO法人ウィメンズ・アクションネットワーク (WAN) 理事長

専門は女性学、ジェンダー研究。この分野のバイオニアであり、指導的な理論家のひとり。高齢者の介護問題にも関わっている。「発情装置 エロスのシナリオ」(筑摩書房)他、著書多数。最新刊に「上野千鶴子のサバイバル語録」(文藝春秋社)。

4 被差別部落と在日外国人の人権

日時 = 9月23日 [日] 13:00-15:00

会場 = キャンパスプラザ京都 4F 第4講義室

山本崇記

静岡大学人文社会科学部准教授

特に差別・マイノリティについて地域福祉とまちづくりの視点から研究し、これまで京都市の被差別部落や在日朝鮮人集住地域に関わった調査研究を行う。近著に「部落差別解消推進法と地域社会：部落差別の現代的形態とその対応について」(『問いとしての部落問題研究』)等。

5 障害のある人をとりまく人権課題

日時 = 10月14日 [日] 13:00-15:00

会場 = キャンパスプラザ京都 4F 第3講義室

松波めぐみ

立命館大学生存学研究センター客員協力研究員、

京都精華大学・大阪市立大学・龍谷大学・関西大学 非常勤講師

専門は人権教育、障害学。障害者差別解消法、障害とジェンダー等をテーマに講演活動を行う。編著に「障害のある先生たち—「障害」と「教員」の交錯する場所—」(生活書院)、分担執筆に「セクシュアリティの障害学」(明石書店)等。

講座

6 世界人権問題研究センター「人権大学講座」インターネットと人権

日時 = 11月13日 [火] 14:00-15:40

会場 = ハートピア京都 4F 第4・5会議室

受講料 = 1,000円 (ゼミ受講生は無料)

毛利透

京都大学大学院法学研究科教授

専門は憲法学。研究課題は憲法訴訟、民主主義、表現の自由、行政権。主要業績として「グラフィック憲法入門」(新世社)、「統治構造の憲法論」(岩波書店)他多数。

7 世界人権問題研究センター「人権大学講座」多様な性のあり方と人権

日時 = 12月14日 [金] 14:00-15:40

会場 = ハートピア京都 4F 第4・5会議室

受講料 = 1,000円 (ゼミ受講生は無料)

谷口洋幸

金沢大学国際基幹教育院准教授

専門分野は国際人権法、ジェンダー法学、ジェンダー・セクシュアリティ。主要業績として「セクシュアリティと法：身体・社会・言説との交錯」(編著)(法律文化社)、「性的マイノリティ判例解説」(編著)(信山社)他多数。

フォーラム

芸術と労働

日程 = 11月23日 [金・祝] 予定

登壇 = 白川昌生 / 三輪晃義 / 吉澤弥生

司会 = 樋口貞幸

長時間労働、低賃金、非正規雇用、やりがい搾取、さまざまなハラスメント。アートに関連する労働環境の問題について、語られることが増えてきています。このフォーラムでは、芸術、労働、社会との関係を考察し、これから先の社会において求められる意識、行動を来場者と共に考えます。

白川昌生

美術家

1970年代にフランスおよびドイツで哲学と美術を学ぶ。1983年に帰国し、1993年に地域とアートをつなぐ美術活動団体「場所・群馬」を創設。美術家としての活動の他に評論執筆活動も盛んに行う。2018年3月、白川昌生+杉田敦・編「芸術と労働」(水声社)を発売。

樋口貞幸

インディペンデント・アート・アドミニストレーター、オフィス・ヘナちょこ主宰

公益財団法人沖縄県文化振興会(沖縄アーツカウンシル)チーフプログラムオフィサー(非常勤)。アートスペース、民間小劇場、アートNPOの中間支援団体での事務局勤務を経て現職。現在もフリーランスの立場でアートプロジェクトの事務局やNPOの監査を務める。

三輪晃義

弁護士

のぞみ共同法律事務所にて執務。主な取扱い分野は労働事件・民事事件。日本弁護士連合会・LGBTの権利に関するPT、LGBT支援法律家ネットワーク、大阪労働者弁護団、連合大阪法曹団に所属し、LGBTや労働問題に関する活動を行っている。

吉澤弥生

共立女子大学文芸学部教授、NPO法人地域文化に関する情報とプロジェクト[recip]理事、NPO法人アートNPOリンク理事

専門は芸術社会学。「芸術と労働」(水声社)に「アートマネジメントと、非物質的労働の価値」を寄稿。近著に「芸術生産の現場から考える—労働・キャリア・マネジメント」(藤井光との対談)『社会の芸術/芸術という社会』(フィルムアート社)他。

上映会 + ダイアログ

9 映画「記憶との対話～マイノリマジョリテ・トラベル、10年目の検証」

日程 = 2019年1月26日 [土] 予定

登壇 = 縦山智子 / 長津結一郎 / 山田創平

司会 = あかたちかこ

マイノリティと表現について、突き詰めた考察や実践を行ってきたゲストをお招きします。マイノリティ性、当事者、政治的正しさ、表現規制、人権などのテーマのもと、参加者と共に対話を深めます。

縦山智子

作曲家、マイノリマジョリテ・トラベル・クロニクル実行委員会代表

スタンフォード大学にて作曲と文化心理学を学ぶ。世界各地で社会的マイノリティのコミュニティや異分野の専門家等と協働しながらサイト・スペシフィックなプロジェクトを展開し、人と環境との対話を媒介することで新たな共同体の音楽を紡ぎ出している。

長津結一郎

九州大学大学院芸術工学研究院助教・大学院芸術工学研究院附属ソーシャルアートラボ構成教員

専門は芸術社会学、アーツマネジメント。障害のある人の表現活動を研究対象のひとつとしている。著書「舞台の上の障害者」(九州大学出版会、2018年)にマイノリマジョリテ・トラベルのフィールドワークを掲載。

映画「記憶との対話～マイノリマジョリテ・トラベル、10年目の検証」

2006年上演のパフォーマンス作品「東京境界線紀行「ななつの大罪」」の軌跡をたどるドキュメンタリー映画。「ななつの大罪」には、脳性麻痺、アルトログリボーシスなどの身体障害の他、性同一性障害、摂食障害、アルコール依存症、レズビアン、うつ病、在日外国人、元路上生活者など、様々なマイノリティ性を自覚する表現者たちが出演し、〈障害〉と〈健常〉、〈マイノリティ〉と〈マジョリティ〉の境界線に問いを投げかけた。監督：佐々木誠 / 制作：マイノリマジョリテ・トラベル・クロニクル実行委員会

受講料 = ①～③⑧⑨無料 / ④⑦人権大学講座の受講料として各回1,000円を当日お支払いください。(ゼミ受講生は無料)

申込方法 = 全てのプログラムは事前申込制です。右記のQRコードよりWEB申込フォームで送信いただくか、お名前・参加人数・受講を希望する講座名を明記の上、メールで [lgbtqseminar@kyoto-seika.ac.jp] までお申し込みください。

申込締切 = 各開催日の前日 (定員あり。各回先着順に受付し、定員に達し次第申込を締め切ります)



※本講座の内容は、後日概要版を公開します。